

# リサイクル推進へ連携

## 若松市と荒川産業協定結ぶ

会津若松市と、リサイクルなどを手がける荒川産業（喜多方市）は14日、リサイクルの推進などに向けた連携協定を結んだ。廃棄物の再資源化や減量化を進め、脱炭素の推進を目指す。



協定書を取り交わす荒川社長（左）と室井市長

連携事項はリサイクル推進のほか、再生可能エネルギーの地産地消の推進、環境保全活動の推進など。使用済み小型家電の回収イベントへの協力、生ごみを再資源化した堆肥の農業利用などに取り組むという。

締結式は市役所で行われ、室井照平市長と同社の荒川健吉社長が協定書を取り交わした。室井市長は「（荒川産業の）知見をもらいながら、ゼロカーボンを目指して取り組んでいきたい」とあいさつした。荒川社長は「資源循環社会の構築に役立ちたい」と述べた。